



昭和55年ミニ鉄道公園開園



ミニ鉄車両の整備・点検作業



富士見市ミニ鉄道クラブは平成22年に30周年を迎え、市では感謝状を贈りました。(平成22年9月12日)



富士見市ミニ鉄道クラブの皆さん。小学生の会員も活躍中！

3.5インチ幅のアルミレールを道床の上に敷き、枕木と忠実に再現された犬釘を使用し、本格的な線路になっていました。公園内を1周する全長約120mの軌道は、当時日本中の注目を集めました。

当初、木製だった枕木は、平成7年にアルミ製に全面改修し、耐久性と安全性が向上しました。また、現在主流の5インチの鉄道模型も走らせることができるとし、レール幅は3.5インチと5インチ兼用の3本レールとし、走行の安定性も増しました。

ミニ鉄道運転会は今年で33年。子どものころ、このミニ鉄道に乗った思い出のある方が、今ではお父さんやお母さんとなり、ご自分のお子さんを連れて、運転会に来てくれます。



富士見市ミニ鉄道クラブはミニ鉄道公園の開園に合わせた募集に応じた方たちで発足しました。ミニ鉄車両を自身でお持ちの方もおり、運転会では多くの方の笑顔を見せて走らせています。

クラブ発足時の会員で当時10歳だった小学生がミニ鉄道で鉄道への興味を深め、現在は東武鉄道の助役として活躍されている方がいます。また、父親が初期会員で、その息子さんも会員となり、将来の鉄道マンを目指している方もいます。

ミニ鉄道クラブ代表の前田さんは「ミニ鉄道クラブがここまで続いてきたのは、鉄道模型を動かすことが大好きな会員が集まったことと、多くのお客さんに喜んでいただき、激励してくれたことが、最大の理由だと感じています。今では多くのま

**富士見市ミニ鉄道クラブ会員募集**

随時会員募集を行っています。10歳以上で興味のある方は、運転会当日クラブ会員にぜひお声掛けください。市内在住の方、鉄道に興味関心のある方、小・中・高・大学生など大歓迎です。

**富士見市ミニ鉄道クラブ**



まえだ のりゆき 前田 憲之さん

富士見市ミニ鉄道クラブ代表

前田さんが乗っているミニ鉄車両は、まだ車両が少なかったときに、少しでもお客さんを待たせず、気持ちよく乗ってほしいとの思いから、ご自身で作成し改良したエンジン式機関車です。

ミニ鉄道ができましたが、無料で乗車できるまちはほとんどなく、富士見市のよき事業としてこれからも続けていきたいです。本格的な鉄道模型に興味関心のある方は、ぜひミニ鉄道クラブと一緒に活動しませんか。特に市内の会員が少ないので、市内在住の方、歓迎します。また10歳以上の方から募集しているので、学生など若い方も一緒に楽しく活動してみませんか」と話されました。

子どもたちの夢を乗せ 走り続けて33年

問合せ／協働推進課 ☎256



ミニ鉄道が今年も4月から出発進行

ミニ鉄道運転会日程 (4~7月)

4月	14・28日	6月	9・23日
5月	12・26日	7月	14日

運転日／いずれも日曜 (雨天中止)  
午前10時～正午、午後1時～2時  
場所／むさし野緑地公園  
乗車賃／無料  
※8月はお休みです。9～12月の運転会は、広報『ふじみ』9月号でお知らせします。

- 自転車は指定の場所 (公園内) に駐輪してください。駐車場はありませんので、車での来場はご遠慮ください。
- 未就学のお子さんは、保護者の付き添いをお願いします。
- ミニ鉄道クラブは、乗車に関する安全管理も行っています。乗車にあたってはクラブ会員の指示に従ってください。

富士見市ミニ鉄道クラブと市の協働事業で運営

運転会は、富士見市ミニ鉄道クラブと市の協働事業で行われ

鶴瀬駅西口から徒歩5分ほどの場所にミニ鉄道が走る「むさし野緑地公園」(鶴瀬西2丁目3703番地)があります。運転会の当日は、大勢の子ども連れの家族が徒歩や自転車が集まっています。蒸気機関車の音はいた煙のにおい、蒸気や警笛の音をする会場は、子どもたちの歓声やミニ鉄道に乗った子どもたちのシャッターチャンスをとねらう保護者たちで、いつも大にぎわいです。

日本初の公園内常設ミニ鉄道

ミニ鉄道は、昭和55年の国際児童年を記念して、全国の自治体で初めてミニ鉄道公園(現むさし野緑地公園)として完成し、運転会が始まりました。

市では線路の点検・整備などを行い、ミニ鉄道クラブの皆さんには車両の点検・整備や運転会の運営などを行っていただいています。

ており、毎年4月から12月(8月を除く)までの間、ミニ鉄道クラブの会員の方々にボランティアで運転をしていただいています。

